

全国学校薬剤師担当者講習会報告書

山口県薬剤師会 学校薬剤師部会長 西村正広

日 時：平成20年3月6日(日)午後1時30分～4時30分

場 所：日本薬剤師会8階会議室

プログラム

司会：日本薬剤師会理事 藤田義人
日本薬剤師会会長 中西敏夫

1. 主催者挨拶

2. 講演

1. 「薬物乱用防止教育の現状

- 保険教育において学校薬剤師に求められるもの - 」

文部科学省スポーツ・青少年局学校教育教育課
健康教育企画室教育調査官 北垣邦彦

平成18年度の薬物乱用防止教室の実施状況は、小学校32%、中学校58.3%、高等学校64.4%であった。山口県に於いては、小学校49%、中学校61.1%、高等学校100%で、全国平均より、うわまわっている。今後も、質をあげ、さらに実施率を上げて行きたい。

2. 「学校薬剤師とくすりの適正使用」

厚生労働省医薬食品局総務課薬事企画官 関野秀人

改正薬事法の附帯決議に、「学校教育においても医薬品の適正使用に関する知識の普及や啓発に努めること。」とあります。学習指導要領にも、くすり教育が記載されます。学校薬剤師は学校と十分な打ち合わせを行い、実施して行きたい。

3. 「くすり教育に関する現場での対応等について」

東京薬科大学教授・薬学教育推進センター長 加藤哲太

実際に小学校でくすり教育を実践されており、いろいろな資料を紹介された。くすりの適正使用協議会RAD・ARのホームページ(<http://www.rad-are.com>)のパワーポイントスライド、小さな実験メニュー、くすりの授業実践例集、イラスト集など、日本製薬工業協会のホームページ(<http://www.jpma.or.jp/>)の小・中学生のためのくすり情報ひろばなどが利用出来そうだ。また、教員+薬剤師で授業を進行していくトライアングル授業を実施されており、参考になった。

3. 報告

1. 「実務実習モデル・コアカリキュラムに基づいた学校薬剤師活動について」

日本薬剤師会常務理事 生出泉太郎

「薬局薬剤師のための」薬学生実務実習指導の手引き - 学校薬剤師編 - を作成中であり、アウトラインを紹介された。

2. 「各都道府県作成の啓発資材等について」

日本薬剤師会学校薬剤師部会幹事 田中俊昭

12月に行ったアンケート調査の報告があった。アンチドーピングに関するツールを持っているところは、国体が開催された都道府県が多いようだ。

3. 「平成19年度学校薬剤師部会事業報告案、並びに平成20年度学校薬剤師部会事業計画案について」

日本薬剤師会学校薬剤師部会長 藤垣哲彦

20年度も19年度と同じように、積極的に活動していく計画である。19年度になかった事業計画に「スポーツ・ファーマシスト制度」の支援推進があった。

4. 閉会挨拶

日本薬剤師会副会長 児玉 孝